

石川県高等学校新聞コンクール 9年連続で最優秀賞



北國新聞会館で表彰を受ける部員

10月15日に行われた第67回石川県高等学校新聞コンクール総合の部審査会において桜高新聞第229号が9年連続となる最優秀賞に選ばれた。

この審査会で、桜高新聞は特集記事の多面性や構成、レイアウトなど、様々な面において優れていると評価された。

この結果について、当時部長の高村美琴さん（301H）は「部員全員が一丸

は特集記事の多面性や構成、レイアウトなど、様々な面において優れていると評価された。

となって作り上げた新聞で最優秀賞を貰うことができ

また、現部長の澤田真優さん（208H）は「最優秀賞を受賞できた」と聞いたときはとても嬉しくなりました。今年も人数が少なく、先輩方のリードや部員の協力、団結がなければ最優秀賞は取ることができなかったと思います。本当に感謝の気持ちでいっぱいです。また、今回審査の対象になった新聞からはたくさんの方の反省点が見つかりました。この反省を日々の新聞作成に生かすとともに、9年間受け継がれてきた伝統をこれからもつなげていけるよう、部員全員で努力していきたいです」と安堵の表情だった。



誇らしげな表情で賞状・盾を持つ

また、同日に行われた部門の部審査会においては、企画賞と学芸賞に選ばれた。この審査会では、本校の新聞について「災害を身近なものに感じられる」「雰囲気や色が統一されていて

見やすい」「見出しが適切で良い」など、多数の意見や感想が寄せられた。10月31日に行われた表彰式では、表彰状を授与されうれしさがこみ上げるとともに今後の新聞作成へと気をひきしめた。また、他校の新聞を見ることで今後の励みとなった。

また、同日に行われた部門の部審査会においては、企画賞と学芸賞に選ばれた。この審査会では、本校の新聞について「災害を身近なものに感じられる」「雰囲気や色が統一されていて

結果は次の通り
最優秀賞
桜高新聞229号
総合の部
最優秀賞
部門の部
企画賞
学芸賞

今回の新聞部紹介号では、第67回石川県高等学校新聞コンクールについて特集しました。



これからも、部員全員が一丸となってより良い新聞作りを目指して誠心誠意がんばっていきます。今後とも桜高新聞をどうぞよろしくお願いたします。